

事業報告

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

【事業概要】 【財団設立経緯等】

株式会社ニトリホールディングスは、「住まいの豊かさを世界の人々に提供する」というロマン(志)のもと、商品の提供など事業活動の多くをアジア諸国に支えられてきました。「お世話になったアジア諸国に恩返しをしたい」という思いと、「アジア諸国の若者たちに勉学上の夢を叶えてほしい」という願いから、2005年3月、本財団代表理事似鳥昭雄(株式会社ニトリホールディングス代表取締役会長)の私財寄附により、似鳥国際奨学財団が設立し、2025年に設立20周年を迎えました。

アジア諸国からの留学生のうち、志操堅実、学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な者に対して「奨学援助」を無償で行い、もって、諸国の友好親善と人材の育成を目的としておりました。その後内閣府へ公益財団への移行申請を行い、2009年10月1日には、公益財団法人となりました。現在は日本国内事業として、アジアのみならず世界各国からの来日留学生、大学生、高校生、中学生に奨学援助を行っています。

そして、海外では、台湾・ベトナム・中国大陸・タイ・マレーシア・韓国・フィリピン・インドネシア・インド計9の国・地域での海外現地奨学金事業を展開し、今後ともさらに充実した活動を行い、微力ながら世界各国の人材育成に力を尽くしていきたいと存じます。

以下、公益財団法人としての21年目の当年度事業の実施状況をご報告申し上げます。

I. 奨学金事業[日本国内・海外現地]

〔奨学金(公1) 支給総額〕 879,281,262円
〔住宅補助費(公2) 支給総額〕 71,740,000円

〔2025年度支援実績〕

※2026年度から日本国内支援制度の変更に伴い、2025年下期の支援人数は0.5として換算しています。(6ヶ月間の支給のため)
各区分および合計値には0.5単位の人数が含まれており、表示は四捨五入しているため、内訳の合計と総数が一致しない場合があります。

区分			支給額	支援人数	
日本国内	来日留学生	-	6～8万円/月	164名	
	大学生	-	5～8万円/月	230名	
		IT人材	8万円/月	48名	
	高校生	-	3.5～4.5万円/月	238名	
	中学生	-	3～4万円/月	171名	
	小計		-	849名	
区分			支給額	学校数	支援人数
海外 現地	台湾		10万台湾ドル/年	23校	148名
	ベトナム		1,300万ドン/年	20校	250名
	中国大陸		5,000～1万元/年	18校	330名
	タイ		10万バーツ/年	7校	120名
	マレーシア		9,500～1.5万リンギット/年	6校	120名
	韓国		500万ウォン/年	5校	90名
	フィリピン		3.5～7万ペソ/年	6校	170名
	インドネシア		1,200万ルピア/年	7校	190名
	インド		5～25万ルピー/年	5校	84名
	小計		-	97校	1,502名
合計					2,351名

1.奨学金事業[日本国内]

※2026年度から日本国内支援制度の変更に伴い、2025年下期の支援人数は0.5として換算しています。(6ヶ月間の支給のため)
各区分および合計値には0.5単位の人数が含まれており、表示は四捨五入しているため、内訳の合計と総数が一致しない場合があります。

①奨学金(公1)

[支給総額] 526,723,449円

[来日留学生部門]

2025年度来日留学生支援人数 計164名
奨学生の内訳は以下の通りになります。

出身 16か国・地域

区分	国・地域	人数	構成比
アジア ・ オセアニア	中国大陸	88名	53.5%
	ベトナム	20名	11.9%
	モンゴル	11名	6.4%
	ミャンマー	10名	5.8%
	韓国	9名	5.2%
	台湾	7名	4.0%
	マレーシア	7名	4.0%
	インドネシア	6名	3.7%
	バングラデシュ	4名	2.1%
	スリランカ	2名	1.2%
	タイ	1名	0.3%
	ネパール	1名	0.3%
	ジンバブエ	1名	0.3%

区分	国・地域	人数	構成比
ヨーロッパ	ウクライナ	1名	0.6%
	イタリア	1名	0.3%
北米	アメリカ	1名	0.3%
合計		164名	100.0%

学校区分

学校区分	人数	構成比
国立	68名	41.3%
公立	5名	2.8%
私立	92名	56.0%
合計	164名	100.0%

学年

学年	人数	構成比
学部1年	18名	11.0%
学部2年	31名	18.7%
学部3年	20名	12.2%
学部4年	16名	9.5%
修士1年	27名	16.2%
修士2年	53名	32.4%
合計	164名	100.0%

【大学生部門】

2025年度大学生支援人数 計277名
奨学生の内訳は以下の通りになります。(IT人材採用を含む)

出身 4か国・地域

国籍	人数	構成比
日本	273名	98.6%
中国大陸	3名	0.9%
ベトナム	1名	0.4%
ブラジル	1名	0.2%
合計	277名	100.0%

学校区分

学校区分	人数	構成比
国立	145名	52.3%
公立	19名	6.7%
私立	114名	41.0%
合計	277名	100.0%

学年

学年	人数	構成比
学部1年	64名	23.1%
学部2年	63名	22.6%
学部3年	44名	15.9%
学部4年	44名	15.7%
学部5年	1名	0.4%
学部6年	1名	0.4%
修士1年	40名	14.4%
修士2年	21名	7.6%
合計	277名	100.0%

【高校生部門】

2025年度高校生支援人数 計238名
奨学生の内訳は以下の通りになります。

出身 4か国・地域

国・地位	人数	構成比
日本	234名	98.3%
中国大陸	2名	0.8%
ウクライナ	1名	0.4%
韓国	1名	0.4%
合計	238名	100.0%

学校区分

学校区分	人数	構成比
国立	13名	5.3%
公立	155名	64.9%
私立	71名	29.8%
合計	238名	100.0%

学年

学年	人数	構成比
1年生	95名	39.7%
2年生	68名	28.4%
3年生	75名	31.5%
高専4年生	1名	0.4%
計	238名	100.0%

【中学生部門】

2025年度中学生支援人数 計171名
奨学生の内訳は以下の通りになります。

出身 2か国・地域

国・地位	人数	構成比
日本	170名	99.4%
ウクライナ	1名	0.6%
合計	171名	100.0%

学校区分

学校区分	人数	構成比
国立	11名	6.2%
公立	138名	80.6%
私立	23名	13.2%
合計	171名	100.0%

学年

学年	人数	構成比
1年生	51名	29.6%
2年生	62名	36.1%
3年生	59名	34.3%
合計	171名	100.0%

②住宅補助費(公2)

[支給総額] 71,740,000円

本期間、上記奨学生(来日留学生・大学生)合わせて264名に、住宅補助費を支給いたしました。

2.奨学金事業[海外現地]

①奨学金(公1)

[支給総額] 352,557,813円

台湾・ベトナム・中国大陸・タイ・マレーシア・韓国・フィリピン・インドネシア・インドの現地大学97校と提携し、奨学生の支援を行っています。

2025年度海外現地支援人数 計1,502名

内訳は以下の通りになります。

区分	NO.	学校名	支給年額/人 (現地通貨)	支援人数	合計支給年額 (現地通貨)
台湾	1	国立台湾大学	100,000台湾ドル	16名	1,600,000台湾ドル
	2	淡江大学	100,000台湾ドル	6名	600,000台湾ドル
	3	東海大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	4	国立中興大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	5	国立中山大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	6	国立中正大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	7	東呉大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	8	国立台湾師範大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	9	国立台中科技大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	10	国立成功大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	11	国立高雄科技大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	12	国立嘉義大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	13	国立東華大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	14	国立政治大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	15	銘伝大学	100,000台湾ドル	6名	600,000台湾ドル
	16	国立屏東大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	17	カトリック扶仁大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	18	文藻外語大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	19	世新大学	100,000台湾ドル	5名	500,000台湾ドル
	20	国立陽明交通大学	100,000台湾ドル	10名	1,000,000台湾ドル
	21	国立台北大学	100,000台湾ドル	10名	1,000,000台湾ドル
	22	国立台湾科技大学	100,000台湾ドル	10名	1,000,000台湾ドル
	23	国立中央大学	100,000台湾ドル	10名	1,000,000台湾ドル
	小計		-	148名	14,800,000台湾ドル
ベトナム	1	ハノイ工科大学	13,000,000ドン	20名	260,000,000ドン
	2	ハノイ工業大学	13,000,000ドン	20名	260,000,000ドン
	3	ハノイ大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	4	ハノイ貿易大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	5	交通運輸大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	6	ハノイ国家大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	7	商科大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	8	アカデミーオブファイナンス	13,000,000ドン	20名	260,000,000ドン
	9	外国語大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	10	ベトナム農業大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	11	電力大学	13,000,000ドン	20名	260,000,000ドン
	12	ハリアフンタウ大学	13,000,000ドン	20名	260,000,000ドン
	13	ホーチミン市技術工科大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	14	ホーチミン市工業大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	15	ダナン工科大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	16	FPT大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	17	ホーチミン市人文社会科学大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	18	ホーチミン市外国語情報技術大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	19	ラクホン大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	20	ホアセン大学	13,000,000ドン	10名	130,000,000ドン
	小計		-	250名	3,250,000,000ドン
中国大陸	1	北京大学	10,000元	10名	100,000元
	2	南開大学	5,000元	20名	100,000元
	3	天津大学	5,000元	20名	100,000元
	4	武漢大学	5,000元	20名	100,000元
	5	同済大学	5,000元	20名	100,000元
	6	南京大学	5,000元	20名	100,000元
	7	浙江大学	5,000元	20名	100,000元
	8	上海大学	5,000元	20名	100,000元
	9	上海海事大学	5,000元	20名	100,000元
	10	南通大学	5,000元	20名	100,000元
	11	東華大学	5,000元	20名	100,000元
	12	西南大学	5,000元	20名	100,000元
	13	蘇州大学	5,000元	20名	100,000元
	14	華南理工大學	5,000元	20名	100,000元
	15	上海外国語大学	5,000元	20名	100,000元
	16	華東理工大學	5,000元	20名	100,000元
	17	復旦大学	5,000元	20名	100,000元
	18	西南交通大学	5,000元	20名	100,000元
	小計 ※1		-	330名	1,700,000元

区分	NO.	学校名	支給年額/人 (現地通貨)	支援人数	合計支給年額 (現地通貨)
タイ	1	カセサート大学	100,000バーツ	6名	600,000バーツ
	2	タマサート大学	100,000バーツ	20名	2,000,000バーツ
	3	シーナカリンウィロート大学	100,000バーツ	22名	2,200,000バーツ
	4	ブラパー大学	100,000バーツ	20名	2,000,000バーツ
	5	ラムカムヘン大学	100,000バーツ	22名	2,200,000バーツ
	6	コーンケン大学	100,000バーツ	10名	1,000,000バーツ
	7	シラパコーン大学	100,000バーツ	20名	2,000,000バーツ
小計			-	120名	12,000,000バーツ
マレーシア	1	マラ工科大学	9,500リンギット	40名	380,000リンギット
	2	マラヤ大学	9,500リンギット	20名	190,000リンギット
	3	マレーシア国民大学	9,500リンギット	20名	190,000リンギット
	4	クアラルンプール大学	15,000リンギット	20名	300,000リンギット
	5	筑波大学 マレーシア	9,500リンギット	10名	95,000リンギット
	6	マレーシア サインズ大学	9,500リンギット	10名	95,000リンギット
小計			-	120名	1,250,000リンギット
韓国	1	ソウル大学	5,000,000ウォン	20名	100,000,000ウォン
	2	延世大学校	5,000,000ウォン	20名	100,000,000ウォン
	3	高麗大学校	5,000,000ウォン	20名	100,000,000ウォン
	4	仁川大学校	5,000,000ウォン	20名	100,000,000ウォン
	5	韓国外国語大学	5,000,000ウォン	10名	50,000,000ウォン
小計			-	90名	450,000,000ウォン
フィリピン	1	フィリピン工科大学	35,000ペソ	50名	1,750,000ペソ
	2	リセウムオブザフィリピン大学	70,000ペソ	20名	1,400,000ペソ
	3	アテネオデマニラ大学	70,000ペソ	20名	1,400,000ペソ
	4	フィリピン大学デリマン校	35,000ペソ	40名	1,400,000ペソ
	5	サント・トマス大学	70,000ペソ	20名	1,400,000ペソ
	6	ナショナル大学 Fairview	70,000ペソ	20名	1,400,000ペソ
小計			-	170名	8,750,000ペソ
インドネシア	1	インドネシア大学	12,000,000ルピア	50名	600,000,000ルピア
	2	ビナ・ヌサンタラ大学	12,000,000ルピア	30名	360,000,000ルピア
	3	ジャカルタ州立大学	12,000,000ルピア	20名	240,000,000ルピア
	4	インドネシア教育大学	12,000,000ルピア	20名	240,000,000ルピア
	5	ダルマ プルサダ大学	12,000,000ルピア	30名	360,000,000ルピア
	6	ガジャ・マダ大学	12,000,000ルピア	20名	240,000,000ルピア
	7	バジャジャラン大学	12,000,000ルピア	20名	240,000,000ルピア
小計			-	190名	2,280,000,000ルピア
インド	1	インド工科大学ボンベイ校	250,000ルピー	20名	5,000,000ルピー
	2	デリー大学	60,000ルピー	20名	1,200,000ルピー
	3	ブネ大学	50,000ルピー	24名	1,200,000ルピー
	4	ガンパト大学	60,000ルピー	20名	1,200,000ルピー
	5	ニューデリー経営大学	60,000ルピー	20名	1,200,000ルピー
小計 ※2			-	84名	8,600,000ルピー
合計			-	1,502名	

※1 2024年度の中国奨学金事業でマイナスが発生。2025年度支援実績より20名、100,000元のマイナス計上。

※2 2024年度のインド奨学金事業でマイナスが発生。2025年度支援実績より20名、1,200,000ルピーのマイナス計上。

Ⅱ.設立20周年交流・記念事業

1. [交流事業]

2025年度の交流会は20周年記念イベントとして、奨学金授与式兼交流会(東京・大阪)及びOBOG交流会を開催しました。日本各地から留学生・大学生・高校生・中学生、OBOGが参加し、自分の夢や取り組んでいること発表し、お互いに良い刺激となり、地域や世代を超えた交流ができました。

また、代表理事をはじめ、財団役員やご来賓の方々から直接アドバイスをいただいたり、実りの多い交流の場となりました。

[奨学生対象]

①『設立20周年』2025年度奨学金授与式兼交流会(東日本地区)

開催日時:2025年10月5日(日)

開催場所:グランドプリンスホテル新高輪

参加人数:955名



集合写真



代表理事講話



乾杯挨拶 財団理事 村石 久二様

②『設立20周年』2025年度奨学金授与式兼交流会(西日本地区)

開催日時:2025年11月30日(日)

開催場所:グランドプリンスホテル大阪ベイ

参加人数:806名



集合写真



来賓祝辞 京都大学総長 湊 長博様

[OB・OG対象]

①『設立20周年』2025年度NITORI CLUB交流会
開催日時:2025年7月19日(土)
開催場所:シンフォニークルーズ モデルナ ※貸切運航
参加人数:359名



デッキでの写真

2. [20周年記念制作物]

2025年度は、20周年の記念として「記念動画」を公開しました。

代表理事をはじめ、奨学生やOBOGの協力のもと、支援の原点とこれまでの歩み、国・地域や世帯を超えた未来への想いを伝えています。



Ⅲ. 居住施設提供事業(公2)

2023年から学生寮「ニトリハウス」の運営を開始し、奨学生(留学生・大学生)へ居住支援を行っています。

【ニトリハウス西台】

2022年12月に居住施設提供事業に使用する土地・建物を東京都板橋区に購入しました。
居室内をリフォームし家具・家電を完備した上で、奨学生向けの学生寮として2023年度4月から運営を開始しました。

【建物名】ニトリハウス西台
【所在地】東京都板橋区高島平
【構造】鉄筋コンクリート4 階建(1985年2月 築、2022年改修)
【収容定員】40 名
【入居者数】17名 (2026年3月31日時点)
【賃料】3万円/月 (共益費、ガス、Wi-Fi代込み)



【ニトリハウス二条】

ニトリハウス西台につづき、2023年1月に居住施設提供事業に使用する土地・建物を京都市中京区に購入しました。
居室内には家具・家電を完備した上で、奨学生向け向けの学生寮として2024年度3月から運営を開始しました。

【建物名】ニトリハウス二条
【所在地】京都府京都市中京区
【構造】鉄筋コンクリート6階建(2003年2月 築)
【収容定員】20 名
【入居者数】6名 (2026年3月31日時点)
【賃料】3.5万円/月 (共益費、水道代込み)



Ⅳ. 被災者等支援事業(公3)

【支給総額】 99,420,000円

国や他団体から支援を受けられていない日本在住のウクライナ避難民の方々に対して、安定して自立した生活を送れるよう生活費支援は2023年9月から受付開始しました。

【受付期間】 2023年9月1日～2025年2月28日
【対象者】 2023年3月1日以降来日したウクライナ国籍の避難民
【支援金額】 1年目 8万円/月(20歳未満4万円/月)
2年目 4万円/月(20歳未満2万円/月)
【支援期間】 2年間
【総支援者数】 214名(2025年度支給人数:202名)

V. 処務の概要

1. 役員に関する事項

(1)役員名簿

2026年3月31日時点の本財団役員は以下の通りです。

役職	氏名	職名
代表理事	似鳥 昭雄	株式会社ニトリホールディングス 代表取締役会長 兼 CEO
業務執行理事	似鳥 靖季	公益財団法人 似鳥文化財団 副理事長
理事	播野 裕史	株式会社サービパレッジ 代表取締役会長
	鈴木 茂晴	株式会社大和証券グループ本社 名誉顧問
	山崎 良子	学校法人駿河台学園 理事長・学園長
	中山 泰男	セコム株式会社 特別顧問
	似鳥 百百代	-
	寺島 実郎	一般財団法人日本総合研究所 会長
	村石 久二	スターツコーポレーション株式会社 取締役会長
	高木 邦格	学校法人国際医療福祉大学 理事長
	齊藤 貴子	株式会社シャトレゼホールディングス 代表取締役社長
	黒田 麻衣子	株式会社東横イン 代表執行役社長
監事	中村 元彦	中村公認会計士事務所 所長
評議員	谷口 良一	株式会社パワーサポート 代表取締役
	野本 弘文	東急株式会社 代表取締役会長
	大倉 陽子	一般財団法人大倉財団プロジェクト360 代表理事
	白井 俊之	株式会社ニトリホールディングス 代表取締役社長 兼 COO

2. 会議に関する事項

(1)理事会

2025年 4月 11日	第1回理事会	書面決議
2025年 5月 16日	第2回理事会	書面決議
2025年 6月 12日	第3回理事会	東京
2025年 6月 23日	第4回理事会	書面決議
2025年 10月 29日	第5回理事会	書面決議
2026年 3月 12日	第6回理事会	東京

(2)評議員会

2025年 4月 25日	第1回評議員会	書面決議
2025年 6月 13日	第2回評議員会	書面決議
2025年 11月 18日	第3回評議員会	書面決議

(3)奨学生選考委員会

2025年 8月 5日	2025年度下期選考委員会 来日留学生・大学生 高校生、中学生同時開催	東京
-------------	---	----

事業報告の附属明細書

*2025年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人法に関する法律施行規則」第34条第3項に規程する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成を省略する。

VI. 公益法人の運営体制の充実を図るための取組

①理事会機能の強化及び専門的知見の拡充

近年の事業規模の拡大や社会環境の変化を踏まえ、理事会の監督機能及び意思決定機能の更なる向上を目的として理事体制の拡充を行いました。具体的には、教育機関運営、医療・教育分野及び企業経営分野において豊富な知見と実績を有する有識者を新たに理事として迎え、多様な視点による助言及び監督を受けられる体制を整備しました。

2025年度新任理事 以下4名
スターツコーポレーション株式会社 取締役会長 村石 久二 氏
学校法人国際医療福祉大学 理事長 高木 邦格 氏
株式会社シャトレゼホールディングス 代表取締役社長 齊藤 貴子 氏
株式会社東横イン 代表執行役社長 黒田 麻衣子 氏

これにより、奨学金事業のみならず、教育、医療、企業経営等の幅広い観点から理事会における審議の充実を図り、法人運営体制の強化を推進しました。

②関連当事者取引の透明性向上及び適正管理

当事業年度において、開示を要する関連当事者との取引はありませんでした。関連当事者との取引を実施する場合には、取引条件の妥当性及び公益法人としての適正性を十分に検討し、必要に応じて理事会等の承認を経て実施いたします。

③海外奨学金事業におけるガバナンス体制の強化

海外大学と連携して実施している奨学金事業について、選考の透明性向上及び不正防止を目的としたガバナンス強化策を策定しました。

具体的には、以下の取組を2026年度に実施予定です。

- ・奨学金応募人数及び選考倍率の報告を大学へ義務付け
- ・奨学生ごとの選考理由の報告を求め、選考プロセスの透明性を向上
- ・奨学生名簿、成績証明書、奨学生履歴書及び学生レポートによる本人確認を実施
- ・奨学金受領書に加え、奨学生本人による受給金額及び署名の記載を求める運用を導入
- ・奨学生データベースの整備を進め、重複受給等を確認できる管理体制を構築

これらの取組を通じて、海外奨学金事業の透明性、公正性及びコンプライアンス体制の向上を図ります。

④会計・財務管理体制の強化

財務運営の適正性及び透明性を確保するため、会計・財務管理体制の充実及び内部統制の強化に取り組みました。

- ・公益法人会計システム(FX4)を活用し、正確かつ効率的な経理処理を実施
- ・支払業務については、事務局長による請求内容の内部精査及び承認後に振込手続きを実施
経理担当者がインターネットバンキングへの振込登録を行い、業務執行理事が最終確認を実施する相互牽制体制を構築
- ・支払承認、振込登録及び最終承認を分離し、内部統制機能の強化を実施